

まつの お たいしや まもりがみ
松尾大社展 みやこの西の守護神

2024年4月27日^①—6月23日^②

京都市西京区に鎮座する松尾大社の初めての大規模神宝展。市内に多くの氏子を持ち、酒・醸造の神として全国の酒造会社の崇敬もあつめています。わが国最古級の神像彫刻として重要文化財に指定されている御神像や、初公開となる源頼朝や織田信長らの古文書を展示し、松尾大社をめぐる信仰史・文化史について多面的に紹介します。



重要文化財 男神像(老年) 平安時代 9世紀
松尾大社蔵

日本の巨大ロボット群像
—鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫—

2024年7月6日^①—9月1日^②

巨大ロボットとは何か。本展では、『鉄人28号』（1963年）や『機動戦士ガンダム』（1979年）、『超時空要塞マクロス』（1982年）などの作品群から、アニメにおける巨大ロボットのデザインと映像表現の歴史を、巨大ロボットたちのリアリティを演出した巨大ロボットたちの「メカニズム」と「大きさ」を軸に辿ります。



機動戦艦ナデシコ(1996年)
©Production I.G/ナデシコ製作委員会・テレビ東京

生誕140年記念 石崎光瑠

2024年9月14日^①—11月10日^②

石崎光瑠は近代京都の日本画家で、華麗な花鳥画を描いた実力ある画家です。登山家としても有名な光瑠は、『熱国妍春』、『燦雨』などの熱帯風景の花鳥画を描きました。伊藤若冲に早くに注目、幅広く古画を学習し、制作に活かしました。本展では、光瑠の故郷・南砺市立福光美術館のコレクションを中心に、代表作を一挙公開し、光瑠の画業の全貌を紹介します。



石崎光瑠『白孔雀』(右隻) 1922年
大阪中之島美術館蔵

日中平和友好条約45周年記念
世界遺産 大シルクロード展

2024年11月23日^①・^②—2025年2月2日^③

東洋と西洋を結ぶシルクロードは、ユーラシア大陸を横断する重要な交易路です。古来、多くの人や物資が往来し、その要衝には多彩な文化が花開きました。本展では、中国の洛陽、西安、蘭州、敦煌、新疆地域などで発見されたシルクロードの遺宝を紹介します。日本初公開を含む約200点の作品を通して、その悠久の歴史をお楽しみください。



敦煌の鳴沙山(画像提供：山田勝久)

5階展示室
Kyoto Art for Tomorrow 2025
—京都府新鋭選抜展—

2024年12月21日^①—2025年1月13日^②・^③

新進作家による卓抜した創造性、技術を備えた作品を紹介します。

カナレットとヴェネツィアの輝き

2025年2月15日^①—4月13日^②

都市景観画(ヴェドゥータ)の巨匠カナレット(1697-1768)。スコットランド国立美術館など英国コレクションを中心に、油彩、版画、素描等をご覧ください。カナレットによる緻密かつ壮麗なヴェネツィアの描写を通じ、18世紀の都市景観画というジャンルの成立過程を辿るとともに、その伝統を継承しヴェネツィアの新たなイメージを開拓していった19世紀の画家たちの作品もあわせて紹介します。



カナレット《ヴェネツィア、サン・ヴィオ広場から見たカナル・グランデ》
1728年頃、スコットランド国立美術館所蔵
© National Galleries of Scotland

	2024	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2025	1	2	3
4F			松尾大社展 みやこの西の守護神		日本の巨大ロボット群像 —鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫—		生誕140年記念 石崎光瑠			日中平和友好条約45周年記念 世界遺産 大シルクロード展			カナレットとヴェネツィアの輝き	
3F														
2F			三國幽眠 —勤王漢学者と京都	天平の都 恭仁宮 —最新の発掘調査成果から	祇園祭 —山鉾巡行の歴史と文化—	福井勇 —あいまいな輪郭 足利将軍、京都に住まう。	京都市コレクションにみる刺繍の世界	陽明文庫の名宝14 —源氏物語と宇治 池大雅展 山水颯爽	京都府内の学校所在資料展3	鶴澤派探求 —朝廷御用絵師の要—	うつす美 —江戸時代の絵画学習		古写真と絵葉書で巡る京の名所	歴史展示エリア全面展示替え予定

2階総合展示室

三國幽眠—勤王漢学者と京都

2024年4月13日^①—6月2日^②

三國幽眠とは福井県三國湊出身の漢学者。幕末に上洛し鷹司家に仕え、勤王の志士とともに活動。安政の大獄を経て生還します。本展では、多くの学者や文化人に影響を与えた漢詩や書、また交流した絵師の作品などを紹介します。



「偷・快」と書かれた晩年の書
個人蔵

祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化—

2024年6月5日^①—8月4日^②

京都の夏を彩る祇園祭の山鉾巡行について、その歴史や文化を文献資料や装飾品から紹介します。



『紙園御本地』より「長刀鉾図」
京都府立京都市学・歴彩館蔵

天平の都 恭仁宮—最新の発掘調査成果から

2024年6月8日^①—7月28日^②

京都府内の古の都といえば、平安京、長岡京、そして恭仁京です。聖武天皇の治世、聖田永年私財法が発布された都です。出土品を主に最新の成果を紹介します。



恭仁宮再現CG 京都府教育委員会蔵

福井勇—あいまいな輪郭

2024年

8月3日^①—9月23日^②・^③(振休)

亀岡を拠点に活動し続けた画家・福井勇(1908-1988)。身近なモチーフや風景を丁寧に描き続けた福井の、柔らかで豊かな世界をご覧ください。



福井勇《朝霧の静物(亀岡市)》
1986年

足利将軍、京都に住まう。

2024年8月3日^①—9月23日^②・^③(振休)

足利将軍の邸宅といえば上京の花の御所が有名ですが、京都文化博物館の近隣にも将軍御所が営まれました。本展では、京都に所在した将軍御所の歴史を辿ります。



国宝 東寺百合文書のうち 足利義詮御判御教書(貞治6年)
京都府立京都市学・歴彩館蔵(画像は東寺百合文書WEB)

京都府コレクションにみる刺繍の世界

2024年

8月10日^①—10月6日^②

京都府所蔵の染織文化財より、桃山時代から近代までのさまざまな刺繍のありようを紹介します。幅広い表現力をもつ刺繍の世界をじっくりとお楽しみください。



井筒文様小袖(江戸時代後期)

近衛家 王朝のみやび
陽明文庫の名宝14—源氏物語と宇治

2024年9月28日^①—11月24日^②

公家の名家、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料の中から、国宝「御堂関白記」をはじめとする選りすぐりの名品を紹介します。



重要美術品 近衛家燕(詞書)・狩野尚信(絵)
「宇治拾遺物語絵巻 巻第三」(部分) 陽明文庫蔵

池大雅展 山水颯爽

2024年9月28日^①—11月24日^②

池大雅(1723-1776)は、近世日本の文人画を代表する一人です。本展では、池大雅美術館より寄贈され現在京都府が収蔵する書画および関連資料の数々をご覧ください。



重要文化財 池大雅《柳下童子図屏風》
池大雅美術館コレクション

京都府内の学校所在資料展3

2024年10月12日^①—12月1日^②

2016年より隔年で開催してきた本展。今回は京都府内の学校が所蔵、活用、継承してきた様々な「学校の文化資源」を考古歴史資料を中心に紹介します。



『かやだに』旧京都府立加悦谷高等学校発行
個人蔵

鶴澤派探求—朝廷御用絵師の要—

2024年11月30日^①—2025年1月26日^②

狩野探幽の弟子・鶴澤探山を祖とする鶴澤派。円山応挙の師とされる石田幽汀など多くの門人を輩出した一派の活躍を紹介します。

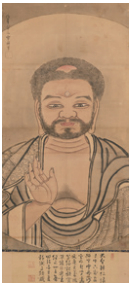


鶴澤探索《花鳥図屏風》(七宝庵コレクション)

うつす美—江戸時代の絵画学習

2024年12月14日^①—
2025年2月2日^②

江戸時代の日本では、古い絵画をよく写し、よく似せて書画を制作することが重要視されていました。現代とは異なる絵画の価値観に触れてみませんか。



佐久間草僊
《雪舟模 大聖世尊像》

古写真と絵葉書で巡る京の名所

2025年2月1日^①—4月(予定)

※—時間室：2月15日～3月14日

現代においても人気が高い京都の名所旧跡。その美しさは写真や絵葉書という形で人々に愛されてきました。本展では京都府所蔵の古写真、絵葉書から、いつの時代も人々の心を掴んで離さない京都の名所旧跡のありし日の姿、あるいは今も変わらぬ景色をお楽しみいただけます。



黒川翠山撮影《東寺》明治末
京都府立京都市学・歴彩館蔵